

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1144 2015年7月号

平成27年度 第一回技術開発委員会

6月16日、第一回の技術開発委員会を開催しました。

当委員会は、四国森林管理局技術開発委員会運営要綱に基づき、技術開発の計画・評価・方法等について意見を聴くものです。 【詳細は2頁】



第一回技術開発委員会（中央：田口森林整備部長）

技術開発課題に貴重な意見
「平成二七年度第一回技術開発委員会」を開催
 〈森林技術・支援センター〉

六月一六日、今年度第一回の技術開発委員会を局二階会議室で開催しました。

当委員会は、四国森林管



平成27年度第一回技術開発委員会

理局技術開発委員会運営要

綱に基づき、技術開発の計画・評価・方法等について

意見を頂くものであり、森林生態学、林木育種、遺伝資源、森林管理経営等の専門家の委員で構成されています。

今回の審議課題は、『①保育作業の省力化による森林育成技術の確立、②下刈省力化によるシカ食害低減効果の検証、③エリートツ

リ植栽による下刈省力化

試験及びシカ食害防止クリップの効果の検証、④小型囲いわなによるシカ誘引・捕獲の向上と普及の推進、⑤竹を利用したシカ食害対策について』の五課題について審議をいただき、意見・助言等を伺いました。

各委員から出された主な意見等としては、

課題①では、

・再造林地は拡大造林地と異なり、下刈省略でも成

林する可能性が高い。

・一調査区内でも、下草繁茂状況が顕著に異なる場合は調査を追加すべき。

課題②では、

・現時点、下草の繁茂は十

分と判断するが、試験地の条件を満たすには一定の期間を要することから、五年の開発期間が必要。

広い面積にシカネットを設置する場合は、区域内を分割して設置すると被害は防げる。

課題③では、

・シカ食害防止クリップ効

果検証において、食害履歴に加え、苗木の健全度調査を行ったことを評価。

・コンテナ苗と普通苗の食害比較は更に詳細な調査分析が必要。

課題④では、

・「囲いわな」の設置等、捕獲

率向上の取組の更なる創

造



課題③ シカ食害防止クリップ装着



課題④ シカ囲いわなによる捕獲

意工夫と普及に期待。

・シカ捕獲周辺の植生調査シートは更なる工夫が必要。

課題⑤では、
 ・多くのタイプで試験を行っているが、苗木保護に有効なタイプに絞っての検証に期待。

・試験計画において、コス



課題⑤
 竹を利用したシカ対策

ト意識を持った計画を行うこと。

等々、各委員からは貴重な意見・助言等が活発に出され、各委員からは貴重な意見・助言等が活発に出されました。

職員永年勤続表彰



平成二七年度四国森林管

理局職員永年勤続表彰式を

六月二四日、局大会議室で



中川勝博さん答辞

当センターでは、これら

の貴重な意見等を踏まえ、今後の試験設定のあり方など技術開発・普及に活かして行くこととしています。

行いました。

表彰式では、浅川局長か

ら受賞者の長年にわたる職

務への努力と受賞者を支え

てこられた家族の方々への

労いの言葉、また国有林が、

今後、国民全体の利益のため

に、地域とともに歩む「国民

のための国有林」として

新たな国有林野事業の姿を

職員永年勤続表彰



民のための国有

林」に向け、また、

民有林も含めた

四国全体の森林・

林業の活性化に

向け、精一杯御

尽力願いたい。』

との式辞があり、

受賞者一人一人

に表彰状が手渡

されました。

また、受賞者

を代表して、森

地域に示していくために 林整備部の中川さんから、

は、皆様方が長年に亘り培 『私共も微力ではあります

われた豊富な見識と経験を が、従来積み重ねてきた林

今後とも活用していくこと 業技術の継承に努め、これ

が必要であり、それぞれの までの体験を業務に活か

職場において、開かれた「国 し、「国民のための国有林」

として立派な山を次世代に引き継ぐとともに、新たな国有林野事業の姿を地域に示していくための取組を進め、常に、自分自身に何ができるのかを問いただし、国民や地域の皆様の信頼を得つつ更に努力を重ねて参りたいと考えております。』と答辞がありました。

愛媛署 立居場一徳

四万十署 森下 嘉晴

嶺北署 森下 寿広

安芸署 牧尾幸之助

同 森 昭人

同 森長 秀一

●二〇年以上

総務企画部 稲垣 孝

計画保全部 竹内 昭人

徳島署 宮西 和洋

同 前田 順一

愛媛署 齋藤 公平

同 西山 秀男

四万十署 滝口 龍二

嶺北署 鷹野 晶子

同 山中 誠一

安芸署 新井 一由

永年勤続表彰受賞者

●三〇年以上

局長 浅川 京子

業務管理官 木村 穰

総務企画部 小川 和幸

森林整備部 中川 勝博

徳島署 植江田成一

森林教室

『地域のお年寄りを対象とした森林教室』

〈技術普及課〉

五月二二日、高知市春野町の住民団体であるミニデイ傘賀会より森林木工教室の実施しました。



森林教室の様子

当日の参加者は二八名

で、木と人とのつながりを考えたり、二酸化炭素の吸収・固定について学んだり、木の名前当てクイズを実施した後、それぞれ希望した作品を木工教室で作製しました。

午後からは、木を使ったゲーム八種類に挑戦していただき、全部成功さ

ゲーム(ビンゴゲーム)



れた方にはカエルの鉛筆や、ジージゼミ、ケロケロカエルをプレゼントしたところ、懐かしそうにプレーして楽しんでいました。

普段は、大多数の小学生を一度に相手していませんので、今回は、時間にとっても余裕がありました。

初めての高齢の方を対

象とした教室でしたが、

「森林のはたらきや木の名

前を覚える、手先を動か

す」などを行うことによ

り、この会の目的の一つ

である健康寿命延伸活動

の一環を担えたのではと

考えています。

最後に、参加された方々

から、秋頃にもう一度計

画して欲しい、孫と一緒

に楽しみたい。などの意

見もいただきましたので、

また、九月にお会いする

ことを約束して森林木工

教室を終了しました。

『第四回 物部川こども祭』に参加

〈技術普及課〉

五月三十一日、「第四回物部川こどもの文化を発信」「物部川流域の交流と活性化」

香美市香北町美良布で開催されました。この催しは、毎年参加しています。



大人気のビンゴゲーム

ム」に親子連れが集射的（ゴム鉄砲）の様子

中し、ビンゴになっ

た子どもにはジ―

ジーゼミヤ、ケロケ

ロカエルをプレゼン

トしました。

また、射的もゲー

ムも人気で、一位に

はゴム鉄砲、二位は

カエルの鉛筆、三位

はカエルのキーホルダーを

プレゼントしました。中に

は、一位のゴム鉄砲が欲し

くて、三回も出場してくれ

た子どもさんもいました。

また、長い列をつくって

ゲームに並ぶ父兄を対象

に、「本当にある樹木はど

れかな？」という、ハンカ



射的（ゴム鉄砲）の様子

チノキやイスノキなど、「珍

しい名前の木があるのかな

いのか」クイズに挑戦して

もらい、正解を説明すると

ともに、「無事カエルカー

ド」をプレゼントしました。

当日は、「雨のち晴れ」

の天気予報で開催があやぶ

まれていましたが、早朝か

ら天候が回復し、隣接のア
ンパンマンミュージアム来
場者の立ち寄り効果もあ
り、大変な賑わいとなりま
した。また、日射しは強
かったものの、心地よい風
が吹き絶好のイベント日和
でした。

森林教室

『地域の樹木へ名札を付けよう』

〈技術普及課〉



樹木名札取り付け

六月一四日、「地域の樹
木へ名札を付けよう！」
(横浜新町まちづくり市民
会議主催)と題して、高
知市立横浜新町小学校東
側の緑道(遊歩道)にお
いて、小学生の親子など
一八名の参加により実施
しました。

このイベントの趣旨は、

後、技術普及課職員がス
ギやヒノキなどの葉っぱ
の実物を見せ、匂いを嗅
いだり、触ったりしなが
ら、樹種や葉っぱの違い
を説明しました。子ども
達はあまり樹木の葉っぱ
に触れたことがないよう
で、とても興味深そうに
触って遊んでいました。

習し、自分で名札を作っ
て、樹木に付けながら、樹
木の特徴や役割を家族や地
域の方々と楽しく学ぶもの
です。
まず、学校長から、「た
くさん木の種類があるの
で、先生と一緒に五つは
覚えましょう。」と挨拶の

その後、二班に分かれて
三種類の樹木の特徴や名
前の由来などを学習しまし
た。参加者は、花や種子を
見つけては、歓声を上げて
いました。
次に、ヒノキを輪切りに
したプレートに、
参加者が気に入っ
た木の名前を書
き、きれいに縁取
りをしたり、好き
なイラストを描く
などして、個性豊
かに仕上げ、自
らの手で名札を取
り付けていきまし
た。

は、一人で何種類もの樹種
を書いた子もいました。ま
た、名札に「大きくなれ。」
と書いている子もいて、思
いやりを感じると同時に今
回の趣旨が理解されたので
はないかと感じました。



樹木学習

